

平成31年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

春季ソフトボール大会
大会要項

～ 絆 ～

“頑張ろう！ 日本！！”

～ Back Softball ～

1. 主催
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会
2. 後援
伊勢崎市ソフトボール協会
3. 会期
平成31年4月27日(土)・28日(日) 8:00～ 予備日 29日(土)
4. 会場
ソフトボール場(A面)・第二グラウンド(B面)
伊勢崎市堤西町93 0270-23-7015
5. 大会役員
部長 齋藤 亮一(赤堀中)
副部長 村井 正典(宮郷中)
委員長 岡田 淳(第三中)
副委員長 鳥潟 厚(第二中)、新井 穂飛(あずま中)
役員 岡部 豊(第二中)、内田 初希美(第三中)、松本 誠・八田 直子(第四中)、
鍋谷 優輝・品川 茉悠(宮郷中)、寺内 愛子・駒倉 良樹(赤堀中)、
内田 英明(あずま中)、五十嵐三晃・八木 駿太(境北中)、
井上 建・原嶋 日菜(玉村南中)
審判長 野村 長次
審判員 伊勢崎市ソフトボール協会審判員
養護教諭 27日 竹田 光代(宮郷中)
 28日 竹田 光代(宮郷中)
 29日 竹田 光代(宮郷中)
6. 参加資格
①伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得た生徒であること。
②合同チームの参加については、『伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟主催大会合同チーム参加規程』による。
7. 監督・引率
参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
8. 参加制限
①登録選手は18名(スコアラーを含む)までとし、主将はユニフォームナンバー10をつける。
②ベンチ入りできるのは登録選手、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名とする。ただし、監督とコーチは当該校の教職員または部活動指導員とする。監督はユニフォームナンバー30、コーチ、外部コーチは31か32のユニフォームとする。尚、応援に訪れた当該校の管理職のみ、ベンチで応援できる。
③監督、コーチ、外部コーチ、引率責任者のうち、同時にベンチに入ることができるのは3名までとする。
9. 試合方法
トーナメント戦方式とする。
10. 参加申込み
①申込責任者：当該出場中学校の校長
②申し込み方法：指定された参加申込用紙に所定事項を記入して、校長が捺印したものを本大会当日までに委員長に提出すること。

1 1. 表彰

- ①優勝チームには優勝杯と賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。
- ②準優勝チームには準優勝杯と賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。
- ③3位チームには賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。
- ④本大会上位3校は県春季大会に出場できる。

1 2. 試合球

日本ソフトボール協会検定球3号球ゴム製（ケンコー）とし、各校で2球ずつ準備する。

1 3. 競技規則・競技方法

- ①競技規則は、2019年日本ソフトボール協会規則に準じて行う。
- ②出場チームは試合開始予定時刻の15分前には待機し、主将はオーダー用紙4枚を持って審判の指示で攻守を決める。オーダー用紙には全登録メンバーの氏名を記入する。（放送がない場合はふりがなはいらない。）
- ③試合前のフィールドインクは5分以内とし、登録メンバーのみで行う。
- ④ベンチは組合せ番号の若番を一塁側とする。
- ⑤3回終了時15点差、4回終了時10点差、5回以降7点差はコールドゲームとする。
- ⑥上記⑤の点差によるコールドゲーム以外は、5回が終了していても試合を打ち切ることはいない。ただし、雨天や日没等でサスペンデットとなる場合は、均等回に戻って試合を再開する。その場合、再開時から90分ルールを適用する。（イニング開始時と同じ投球練習を認める）
- ⑦試合は7イニングまたは90分で行い、90分を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は次回よりタイブレーカーを適用する。（決勝は時間制限なし）
- ⑧同一学校が第1・第2試合を連続で行う場合は、第1試合終了30分後にベンチ入りとする。尚、試合の進行や天候等の状況で、当該校の顧問と役員、審判と協議した上で開始時間を早めたり、会場を変更したりする場合がある。
- ⑨応援は品位を汚さぬようにし、相手選手への卑劣なヤジや個人攻撃は禁止する。投手がセットポジションに入った後は静観する。また、相手チームのミスを喜ぶような応援は控える。ベンチ内で使用できるメガホンは1個だけである。
- ⑩コーチャーボックスに立てるのは選手のみとする。
- ⑪監督・コーチ・選手はユニフォーム（体操服）を着用し、選手のユニフォームは必ず学校名を表示したマークをつけ、背番号と胸番号をつける。男性の監督とコーチは必ず帽子を着用する。
- ⑫審判員の判断に基づく判定に対しては、抗議することは許されない。ルール上の疑義については監督に限りこれを問うことができる。
- ⑬その他、試合運営上問題が生じた場合は、大会役員と審判団の合議で決める。
- ⑭ファールボールはベンチで処理し、ベースは固定式とする。
- ⑮本大会出場校の監督は選手の安全について常に注意し、交通事故防止、バットスイングの安全処理、スライディングのけが防止等について指導しておく。

1 4. その他

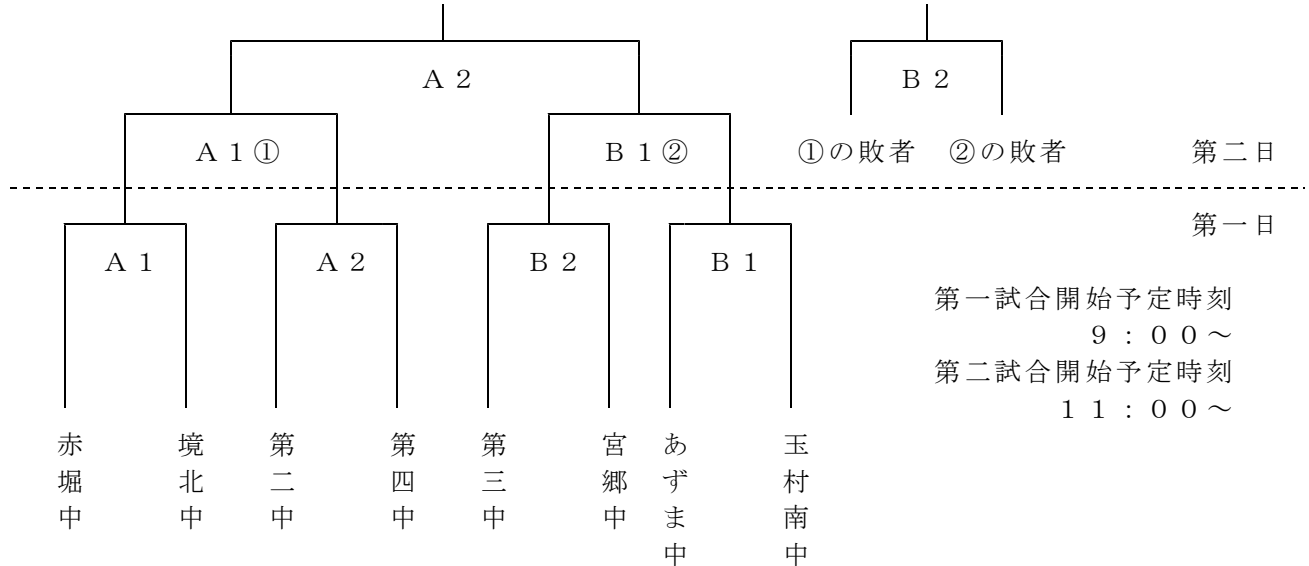
- ①選手と顧問教師は各学校の代表である自覚を持つこと。特に選手の服装や髪型、身なりには顧問教師を中心に各学校で責任を持って指導し、大会に参加すること。
- ②練習や試合の際には安全に配慮する。気温が高い場合には、水分補給を十分に行い、熱中症等に注意すること。同一チームの攻撃が20分以上続く場合は、審判や役員の判断で試合を止めて、守備側の選手の健康面への配慮を目的とした給水時間をとる。（再開時に投球練習は行わない）また、状況に応じて柔軟な対応を行う場合がある。
- ③大会期間中の不慮の事故（負傷、疾病）は応急処置のみ行うが、それ以後の責任は負わない。駐車場で交通事故やファールボールなどによる自動車の破損については一切責任は負わない。
- ④ゴミの持ち帰り喫煙場所については、参加校顧問から保護者に周知徹底する。特に昼食を外部業者に発注する場合は、空き箱等を必ず持ち帰るか、業者に引き取ってもらう確認を各学校ですておく。荷物管理についても置き引き等に十分注意し、各学校で責任を持って管理する。
- ⑤顧問は7:00に集合し、試合の準備をする。雨天時は6:00に部長、委員長、副委員長が集合し、天候判断をする。
- ⑥選手・顧問・審判・応援者は、自転車・自動車の置き方や鍵に注意し、グラウンド内や周辺、応援スタンド等をごみで汚さないように心掛ける。
- ⑦第二グラウンドでの保護者の応援やビデオ・写真撮影は、各自校ベンチより外野側で行う。

15. 地震への対応

大会期間中に大規模な地震が発生した場合は、大会運営者や役員の指示で行動・避難させる。

- ①ゲームの中断を大会役員から連絡し、同時に身の安全の確保の指示を出す。
- ②生徒の安全確保と人員の確認を最優先に行う。
- ③状況を冷静に判断し、再開するか避難するかを役員から指示を出す。
- ④試合の再開については審判・大会役員・両校監督で確認・協議して、一方に不利益が生じないように配慮する。サスペンデットにする場合は中断になった状況を引き継いで試合を開始する。

16. 組み合わせ



17. 開・閉会式次第

〔開会式〕

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 開式の言葉 | 司会：鳥潟先生
(鳥潟先生) |
| (2) 優勝・準優勝杯返還 | (齋藤学校長・寺内先生) |
| (3) 大会部長挨拶 | (齋藤学校長) |
| (4) 選手宣誓 | (赤堀中主将・高柳舞 たかやなぎ まい) |
| (5) 競技上の注意 | (審判長) |
| (6) 大会運営上の注意 | (岡田先生) |
| (7) 閉式の言葉 | (鳥潟先生) |

〔閉会式〕

- | | |
|------------|-------------------|
| (1) 開会の言葉 | 司会：鳥潟先生
(鳥潟先生) |
| (2) 成績発表 | (鳥潟先生) |
| (3) 表彰 | (齋藤学校長・寺内先生) |
| (4) 大会部長挨拶 | (齋藤学校長) |
| (5) 審判長講評 | (審判長) |
| (6) 閉会の言葉 | (鳥潟先生) |